



もっといろんな方とお話ししたい これからも楽しみが一杯です

仕事が充実し、趣味に明け暮れた時代

仕事を2回目に配属になつた課で一番やりがいを感じて頑張りました。その頃はプライベートも充実していて、楽しみを始めた頃でもありました。同僚に教わったお酒、月2回の山歩き、写真撮影会、軟式テニス、卓球、競馬、ボウリング、だるま作りなどたくさん

战争中に生まれ、また7人兄弟だったので生活は大変でした。中学生の時は野球をしたかったけどできなかつたので、自分でセメントを買ってきてバーベルを作りトレーニングをしていたんです。また石炭箱をもらってきて、当時流行っていたスマートボールの台を作つたり、竹とんぼを作つたりしました。庭で野菜作りのお手伝いをしたりと、子供の頃から物作りが大好きな子供でした。

物作りが大好きだった少年時代

今回は入居されて2年目の葭崎安司様（76歳）にお話を伺いました。



今回お話を伺った
葭崎（よしさき）安司さん

健康に自信もつき、楽しみも広がった

食事も不規則で健康面でも不安があり入居を決めました。今の暮らしは以前と同じリズムで自転車での買い物、図書館などを廻っています。以前から好きだっただるま作りを続

父は75歳で他界。静かに苦しまずにつきました。母は88歳で亡くなりました。15年ほど患つたんです。病院を転々とし、最期5年間は寝たきり、2年間は意識もない状態でした。最期の1年は、病院で泊まってそのまま職場へ出勤という生活をしていました。母の最期は延命治療のせいでかわいそうだった。父のようにすっと眠るようになりたいな。そして楽しいことが出来なくなるまでは、できる範囲で楽しみたいと思うんです。

両親を看取って考えた自分の将来

の趣味を同時にしていました。その頃、親には「自分のこれからのこととはきちんと考えてしつかり生きなさい」と言わされたけど、意味が分からず楽しいことだけをしていた毎日でした。

また今一番楽しいのは、サークルでは世話役の方から、ルールを教わり、アドバイスしていただきます。私は人見知りですが、交流も深くなり毎週楽しみにしています。先日は、ボウリング大会では皆さんと一緒に盛り上がりました。



ボウリング大会での気合の一投

けるため、入居の前に下準備した木の型を100個ほど持つてきます。あとは研磨と塗りをして、楽しみながら少しづつ仕上げるつもり。

今の暮らしを存分に楽しんでください。将来を心配されたご両親もきっと天国で安心されていると思います。